

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

## 対話カフェについて

### 岩手医科大学

産婦人科学講座 教授／岩手医科大学附属病院 腫瘍センター長 **杉山 徹**  
外科学講座 講師／岩手医科大学附属病院 腫瘍センター副センター長 **柏葉 匡寛**

平成26年4月から新腫瘍センター長に着任を期に岩手医科大学附属病院の「がん患者・家族サロン」(以下サロン)で“対話カフェ”を開催しています。

この対話カフェは、2008年に順天堂大学 樋野興夫教授が立ち上げた「がん哲学外来メデイカルカフェ」の考え方をもとに、「患者・医療スタッフ間の対話を重視したサロン形式のカフェ」として当院のサロンのイベントのひとつとして昨年7月より第4水曜日の午後2時から3時半までの一時間半行っています。

サロンの一角にキノコ型のテーブルを置き、喫茶店風な非日常を演出し、医師1名ないし2名が患者さんやご家族と“対話”を行っております。病気を告知されて誰もが心の揺れ動きの中で、これからどのようにして自分らしく生きることができるかを考えます。しかし、医療現場は患者さんの病状や治療の説明が主で、がん患者さんやその家族が希望する医師との精神的な苦痛までを和らげる「対話」が十分に行われていないのが現状でしょう。そういった医療現場と患者の間にある「隙間」を埋めるために、サロンでは立場を越えて集う交流の場を作ることになりました。皆さんとの対話により、私たち医療者にとっても大きな学びの場になります。

これまでに7回開催され、当院入院中・通院中の患者さんのみならず他院通院中の患者さんなど29名が参加されました。その中には、栄養士・管理栄養士養成学校の臨地実習の学生や実習中の看護学生も参加し医療機関としての役割も果たしています。

参加目的も病気に対するそれぞれの想いを語りたい方、入院中の気分転換に用意されるコーヒーを楽しむために参加された方、趣味の話をした方などそれぞれですので、対話形式も個人対話、グループ対話と、その時々状況に合わせて、何よりざっくばらん、堅苦しくなく行っています。

参加者の皆さんには、他のサロンイベントにおいても実施している「満足度調査」を行なっています。参加者ご自身の気分を10段階で数値化していただき、イベントの前と後を比較し、さらにご意見や感想を頂き、イベントを評価し企画に役立てております。対話カフェの参加満足度は3から最高6段階気分の上昇があり、「自分のことを話せたことや先生自身の体験や考えを聞くことで元気が出ました」「とても楽しかった！参加できてよかったです」「患者さんの病室とは違う明るい声を聞くことができ大変嬉しく思いました」などの感想が寄せられています。昨年11月からインフルエンザ感染防止のため院内に面会制限が行われ、入院患者はサロンをなかなか訪れることができませんが、外来通院中の患者さんたちが、ポスターやパンフレット、ホームページで企画を知って、また担当医師から企画を紹介されて参加しています。



折角の“対話カフェ”の企画ですが、院内外での認知度はまだ高いものではありません。現在までの評価が高いことや、医療者の医育、あるいは医療者と患者さんがお互いに一人の人間として向き合う場として、今後一人でも多くの皆さんにゆったりした気分で対話ができる時間と空間を提供していきたいと考えています。

折角の“対話カフェ”の企画ですが、院内外での認知度はまだ高いものではありません。現在までの評価が高いことや、医療者の医育、あるいは医療者と患者さんがお互いに一人の人間として向き合う場として、今後一人でも多くの皆さんにゆったりした気分で対話ができる時間と空間を提供していきたいと考えています。





# Texas Medical center 研修報告

順天堂大学 先導的がん医療研究開発センター 助教 今井 美沙



順天堂大学にてリサーチセミナーをしていただいた、Baylor Collage of Medicineの山本慎也先生の協力のもと、2015年2月11日～19日の日程でアメリカの最大級のメディカルセンター、Texas Medical centerを訪れました。本研修は、海外で活躍する先生方のセミナーや研究施設の見学を通して、海外で研究すること、生活することの楽しさ、そして英語の重要性を肌で感じ、地域から世界まで、さらには基礎から臨床まで俯瞰する次世代のがん研究者・医療人の育成の一環として企画されました。

参加者はがんプロ連携7大学のがんプロ登録生およびインテンシブ・コース生である、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、看護師、基礎研究者2名の6名でした。そして、研修ではICT(JANDI)を活用し、職種、そして勤務地に関係なく研修前から積極的にコミュニケーションを取ることができた工夫をさせていただきました。短い期間ではありましたが、研修ではMD Anderson Cancer CenterおよびBaylor collage of Medicine(MDACC)で活躍する沢山の先生方に講演をしていただく機会、そして、MD Anderson Cancer Center Proton center や Texas Children's Hospitalを見学する機会も得ることができ、本当に充実した時間を過ごすことができました。その中で、特に印象に残った先生、および施設とともに研修生の感想を紹介させていただきます。



## Dr. Yamamoto's Lab

山本慎也先生は大学院入学を機にアメリカへ渡り、2012年にBaylor College of MedicineでPh.D.を取得され、2013年からAssistant Professorとして独立し、ラボを運営しておられます。Jan and Dan Duncan Neurological Research Institute (NRI)の11Fにある先生のラボを訪問し、ラボ見学そしてLectureをしていただきました。



Lectureではご自身の経験および研究成果をもとに、アメリカでの研究生活、ショウジョウバエが実験動物として有用な理由、医学研究に与えるインパクトなどを中心にお話しいただき、Lab見学ではなかなか見ることのできないショウジョウバエを実際に顕微鏡を使って見せていただきました。



## Tour of MDACC Proton Center



Proton centerのAssociate Professor 鈴木一道先生によるLectureおよび施設見学が実現しました。鈴木先生はProton center立ち上げから現在まで、センターの機械に関するメンテナンスなど非常に重要な部分の仕事に関わっておられます。

LectureではMDACCでの陽子線治療の現状、そして治療計画立案の方法、チーム医療の現状など大変貴重なお話を伺うことができました。また世界最大級の陽子線治療装置

およびその裏側まで見学することができ、研修生にとって大変有意義な時間になりました。さらに、施設見学にあたり、英語でCV(履歴書)を準備する必要があるため、研修生にとっては英語に触れるよい機会・経験となりました。



## MD Anderson Cancer Center & Baylor Collage of Medicine

### Tour of MDACC



メインロビーでMDACCのover viewをお話しいただき、乳腺センター、図書館などを案内していただきました。同時に、どのようなチームにより診察を行っているか、そして臨床研究の現状などもお話しいただき、研修生にとっても私にとっても大変刺激的な時間になりました。また、研修生（臨床検査技師）が質問した感染症予防対策に関しては、大変勉強になると同時にとても新鮮で、様々な職種で研修を行うことの意義を感じる時間となりました。

### 研修参加者の感想

#### ➤ 板橋中央総合病院 放射線治療センター 診療放射線技師 佐藤 礼

基礎研究、臨床のどちらも見学できた点良かったです。どちらの分野も見学することで臨床現場以外の知らなかった部分を知ることが出来ました。また、MD Anderson Cancer Centerという最大の病院を見学できたことで今後の臨床現場での働き方を改めて考え直すことができました。JANDIを使って研修後も積極的に連絡を取り合えたことが良かったです。今回の海外研修に参加したことは、ずっと思い出に残るとても貴重な体験になりました。これからは講演会や勉強会に広く参加して、勉強を続けていこうと思います。今度は自分ががんプロのお役に立てたらと思います。貴重な経験をさせていただき、本当にどうもありがとうございました。



#### ➤ 岩手医科大学附属病院 薬剤師 於本 崇志

がん診療に携わっている医療従事者として、MD Anderson Cancer Centerを見学の魅力を感じ、今回の海外研修に参加させていただきました。しかし、実際に見学してMDACCのみならず、Texas Medical centerという世界最大規模の医療施設にただ圧倒されました。ここでは、世界最先端の医療が提供され、そのためにはチーム医療の実践が必須であることを改めて感じさせられました。また、Patient CareとClinical Trialの両立、さらには基礎研究の充実化が新たなエビデンス創出に重要であることを学び、日本人の基礎研究者の方は、高い志を持った方ばかりで、とても刺激を受けました。この研修では、Mentorと呼べる方々に出会えたことが一番の収穫だと思っています。ここで得た仲間とまたどこかで一緒に仕事をし、何か形にできればと思っています。お世話になった先生方、楽しい研修を企画していただき、本当にありがとうございました。



本研修でお世話になった先生方と積極的にコンタクトを取りながら、日本の若手研究者が海外で研究することが身近になるよう、また海外で活躍する若手研究者が日本でも活躍できる場を作れるよう、この研修をさらに良いものにし、先導的がん医療開発研究センターが中心となり次世代のがん医療研究者の育成につなげていきたいと思っています。最後に、本研修を支えていただいた先生方そして研修生の皆様、本当に有難うございました。





## 情報 コーナー

### 報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- ICT特別講義(鳥根大学・鳥取大学)「チーム医療の日米比較～トーマスジェファーソン海外研修～」  
講師：鳥根大学医学部附属病院 頭頸部診療科群 耳鼻咽喉・頭頸部外科 小山 哲史 先生 他  
2015年1月19日(月) 18:30～20:00 ICT接続により連携7大学各校に配信
- ICT特別講演会(明治薬科大学)「中性子捕捉療法に向けたドラッグデリバリーシステムの応用」  
講師：明治薬科大学 がん先端治療学 アルファ粒子線・免疫治療学教室 柳衛 宏宣 教授  
2015年1月21日(水) 18:30～19:30 ICT接続により連携7大学に配信
- 第2回 江津市民公開講座(鳥根大学)「江津のがん医療のこれからを考えよう」  
講師：医療法人社団森医院 森 真爾 理事長 他  
2015年2月1日(日) 13:30～16:00
- 研究シンポジウム(明治薬科大学)「がんの病態と薬物治療の接点」  
講師：順天堂大学医学部 呼吸器内科 高橋 史行 准教授 他  
2015年2月21日(土) 13:00～15:45
- 対話Café〈第8回目〉(岩手医科大学)  
担当：岩手医科大学附属病院 がん登録室 菅井 有 室長、緩和ケアチーム室 木村 祐輔 室長  
2015年2月25日(水) 14:00～15:00
- 臨床研究研修会(合宿)  
2015年2月28日(土)～3月1日(日) 順天堂大学にて開催
- 特別講演会(順天堂大学)「臨床試験の質とは何か？」  
講師：中央大学理工学部人間総合理工学科/生物統計学研究室 大橋 康雄 教授  
2015年3月6日(金) 18:30～20:00 ICT接続により連携大学に配信
- 鳥根大学がんプロ事業中間報告会(鳥根大学)  
講師：鳥根大学医学部附属病院 井川 幹夫 病院長 他  
2015年3月6日(金) 18:00～21:00 ICT接続にて済生会江津総合病院、町立奥出雲病院に配信

### 今後のスケジュール

詳細はHPに随時掲載します

- 講演会(順天堂大学)「日本における胃がん及びその化学療法の現状について」  
2015年4月2日(木) 10:00～11:30 順天堂大学センチュリータワー北405教室  
16日(木) 10:00～11:30 順天堂大学10号館105教室
- 国際教養学部開設記念シンポジウム(順天堂大学)  
2015年5月13日(水) 14:00～16:30 順天堂大学 有山記念館講堂

### 編集後記

「平成24年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業」で「第3回臨床研究研修会」が合宿形式で開催された。筆者は、「閉会の挨拶」で『良き広報』の大切さを強く述べた。

遺伝性がんの「2 hit」で著名な、アメリカ時代の恩師 Knudson(1922～)の最新論文「Revisiting tissue specificity of germline cancer predisposing mutations」(Nature Reviews|Cancer 15:65-66, 2015)が送られてきた。改めて偉大さを確認した。

『ならのがん対策県民提案事業～がん患者サロン開設5周年記念事業シンポジウム「がんになっても安心して暮らせる奈良」に向けて～』に招待された。筆者は、講演『がん哲学外来 in 奈良～聖徳太子の現代的意義～』の機会が与えられた。若き日、「和をもって貴しとなし～」で始まる『十七条憲法』を暗記したものである。今回は、第五条「賄路を取るな」、第七条「官のために人を求め、人のために官を求めず」、第十四条「政治家たちは嫉妬心を持ってはいけない」について語った。まさに、「遠き過去を知らずして、遠い未来は語れない」である。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

## 順天堂大学先導的がん医療開発研究センター 順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

<http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>